

# 県民共同の力の勝利



冷たい県政から

## あつたかひ県政へ 期待と共感

1月25日投票が行われ、た吉村みえこ氏が勝利し、東北初の女性知事が誕生しました。

県民各層から支援を受けました。

当日夜の吉村選挙事務所は、かけつけた約300人の支援者が開票速報を見守りました。

「当確」が出ると、あちこちで老若男女が肩を抱き合い、涙ぐみ、喜び合う姿が見られました。

とインタビューに答えました。

吉村氏は、「訴えた政策の実現のためにがんばりたい。心の通い合う県政を実現したい」

この間、日本共産党は、吉村氏との政策合意にもとづき、2回の



県知事に吉村氏  
東北初の女性知事

写真左；当選を決め支援者と万歳する吉村氏(左端)とゆり子県議(右上端)  
=1月25日夜、吉村事務所  
写真右；支援者に次々と祝福される吉村氏(中央)=同

2009年2月1日 第57号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺ゆり子  
〈連絡先〉  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

「新やまがた」号外で県政政策を発表して全力で支援し、吉村知事誕生に大きく貢献しました。今後も県民要求実現のため、なおいつそつ力を尽くしていきます。

日本共産党の市田忠義書記局長は、山形知事選の結果について、次の談話を発表しました。

吉村美栄子氏の勝利は、国言いなりで県民のくらしを切り捨てた自民党型県政への審判であるとともに、国の自公の悪政への山形県民のきびしい批判を示すものとして積極的意義を持つ。

日本共産党は、ひきつづき国民の苦難軽減という立党の原点にたつて草の根から国民の雇用とくらしを守る活動を強め、新しい政治実現の力を大きくするために全力をあげるものである。

## 東北の雇用守れ

日本共産党  
高橋衆院議員先頭に政府交渉



交渉に臨む高橋衆院議員(左から3人目)と東北各県の衆院候補者。右端は佐藤衆院比例候補=1月22日、衆院第二議員会館

例候補(1区重複)と長谷川つよし同3区候補が参加しました。

厚生労働省との交渉では、解雇や人員削減の実態を正確に把握して対処することや、違法な解雇や雇止めは撤回させるよう強く要望しました。

1月22日、日本共産党東北ブロックの高橋ちづ子衆院議員ら衆院比例・小選挙区候補者は、大失業・倒産の危機から雇用と中小企業を守る緊急対策を講じるよう求めて政府交渉を行い、山形県からは佐藤まさゆき衆院比

厚労省は、実態調査は1月もあらためて行い、30日に発表すると表明、企業側に雇用維持のために支援する助成金などについて、適用の緩和を検討していくと述べました。

### 県議会

2月3、4日と閉会中の委員会審議があり、2月末からは新年度予算を審議する定例議会が開かれます。

新知事となり、県政も県議会も県民の注目が集まると思いますが、日本共産党県議団は、吉村県政が県民の期待に応えられるよう奮闘するとともに、国にもものを言い、前向きの変化をつくり出せるよう力を尽くすものです。

### ゆり子の視点

#### 日本共産党の出番

県知事選は、県政にかかわる選挙ですが、国政と切り離すことはできません。今度の選挙でも、県政の「痛み」をしる補助金削減を国の「構造改革」路線と重ねて見て、「変えてほしい」の声が多く聞かれました。

びつくりしたのは、吉村氏を支援した自民党の方から、応援演説の中で「向こうを応援しているのは自民党だけじゃないか。こちらは自民党から共産党までの県民党だ」の言葉が飛び出したことです。それだけ、自民党の求心力が低下しているあらわれではないでしょうか？

いま有権者でもっとも高い比率は支持政党なし層と指摘されています。政治的関心が低いわけではなく、大きく政治を動かす力を持っています。

法律違反の解雇撤回や、後期高齢者医療制度廃止の活動で、日本共産党への注目度がアップしていることはうれしいことです。山形でも、青年が党事務所をたずね入るといったことがあり、まさに日本共産党の出番と感じています。